

Trimble Business Center 操作方法 ウェビナー動画一覧

(2024年1月)

★ショート版は同じナンバーのフル動画から、実演操作部分のみを抜き出したものです。

クラス	no	タイトル	概要 (YouTube)	時間
初級	01	スタートアップ(基本操作)	Trimble Business Center の初期導入時における基本操作をご紹介します。	45分
	02	点群を処理する	3Dスキャナなどで取得した点群のLASファイルをインポートして地面の抽出や間引きなど、点群に対する基本的な処理操作をご紹介します。また、点群メッシュレポートは間引き後の点の密度をレポート出力します。	38分
	03	面とブレイクライン	点群を使用して面を作成したり、面に対してブレイクラインを設置する方法をご紹介します。	25分
	04	三次元数量レポート	2つの面を比較して、土量の差を算出し「三次元数量レポート」を作成します。	24分
	04-1	[ショート版]三次元数量レポート	※操作実演部分のみのショート版です。2つの面を比較して、土量の差を算出し「三次元数量レポート」を作成します。	6分
	05	地形モデルの最適化と平坦化	点群から作成した面の表面を整えるコマンドをご紹介します。点群処理の結果で大きく影響する面の形状。2つのコマンドがお客様の作業を楽にします。	35分
	05-1	[ショート版]地形モデルの最適化とブレイクライン	※操作実演部分のみのショート版です。点群から作成した面の表面を整えるコマンドをご紹介します。(地形モデルの最適化編)	11分
	05-2	[ショート版]地形モデルの平坦化	※操作実演部分のみのショート版です。点群から作成した面の表面を整えるコマンドをご紹介します。(地形モデルの平坦化編)	11分
	06	Trimble SX10観測データの修正	Trimble SX10で取得した観測データをTBCで修正する方法をご紹介します。既知点座標の訂正、器械高・目標高の修正、後視点や器械点の編くなど、さまざまな観測時における入力ミスの修正をTBCで行います。	43分
	06-1	[ショート版]Trimble SX10観測データの修正—インポートと座標訂正	※操作実演部分のみのショート版です。Trimble SX10で取得した観測データをTBCで修正する方法をご紹介します。(インポートと座標訂正)	6分
	06-2	[ショート版]Trimble SX10観測データの修正—器械高・目標高の変更	※操作実演部分のみのショート版です。Trimble SX10で取得した観測データをTBCで修正する方法をご紹介します。(器械高・目標高)	8分
	07	Trimble SX10観測データとLASファイルのインポート	Trimble SX10で取得した観測データをTBCで座標や点群として展開する基本操作や撮影した写真の確認、LASファイルの追加インポートやエクスポートをご紹介します。	1時間 2分
	08	任意断面図の作成	「任意断面図の作成」を行います。面を使用して作成する成果の一つです。1つの面から複数面まで、任意の位置で断面図を作成することができます。任意断面図を作成するまでには、いくつかのポイントがありますので確認していきましょう。	40分
	中級	08-1	[ショート版]任意断面図の作成	※操作実演部分のみのショート版です。「任意断面図の作成」を行います。面を使用して作成する成果の一つです。
08-2		[ショート版]任意断面図の作成 (シートへの配置)	※操作実演部分のみのショート版です。「任意断面図の作成」を行います。面を使用して作成する成果の一つです。(シートへの配置)	11分
08-3		[ショート版]任意断面図シートの一括作成 (複数断面の一括作成)	※操作実演部分のみのショート版です。「任意断面図の作成」を行います。面を使用して作成する成果の一つです。(複数断面一括作成)	8分
09		線形登録と現況縦横断面SIMAファイルの作成	点群で作成した面から現況縦横断面SIMAファイルを作成する手順をご紹介します。出力したSIMAファイルは、測量CADで縦横断面図に展開します。三次元点群データを使用した断面図作成業務などに活用できます。	25分
10		線形登録と横断面図作成	点群で作成した面から横断面図を作成する手順をご紹介します。線形データを基準として複数の断面図を一度に作成することが可能です。TBCで横断面図を作成することはもちろんのこと、SIMAファイルとして出力し、従来の測量CADソフトで横断面図を仕上げることもできます。ここでは、線形登録から、ラベル表示、横断面図作成、までの一連の操作を確認しましょう。	47分
11		面の交差ラインの作成と面編集	2つの面の交差部分を計算する「面の交差ラインの作成」を使用した、面の合成方法をご紹介します。さらに、マクロコマンドを使用した面の編集方法は必見です。	30分
TOWISE (連携)	11-1	[ショート版]面の交差ラインの作成と編集 (面の合成)	※操作実演部分のみのショート版です。マクロコマンドを使用した面の編集方法をご紹介します。	11分
	11-2	[ショート版]Macro (マクロ) の利用	※操作実演部分のみのショート版です。マクロコマンドを使用した面の編集方法をご紹介します。	11分
	12	扇形の作成とPointCloud By Boundary	地上型3Dスキャナは、器械設置点から離れるごとに入射角が小さくなり点密度が薄くなります。公共測量作業規程の準則に記載された許容範囲を満たす点群を抽出するための方法をご紹介します。	13分
	13	点群断面線作図 (実演付き)	TBC Ver.5.40 で公開された「点群断面線の作成」は、オーバーハング形状の断面図を点群から作成することができます。	12分
	14	ライン特徴の抽出	TBC Ver.5.4で追加された、「ライン特徴の抽出」コマンドを使用して、3DスキャナやUAVなどを使用して取得した大量の点群から、「縁石と側溝」や「電線」を表現するラインストリングを自動抽出します。	18分
		TBC-TOWISE連携1 座標とCAD図形を連携する	TOWISE連携を使って、TBCのデータをTOIWISEに転送しましょう。この動画では、コマンドの機能を確認しながら座標とCAD図形をTBCからTOIWISEに転送します。	25分
		TBC-TOWISE連携2 道路データ・面データを連携する	TOWISE連携を使って、TBCで作成した道路データと面データをTOIWISEに転送しましょう。道路データは線形と面を使用することで、TOIWISEの線形データと縦横断面現況データをTOIWISEに作成することができます。面データはTOIWISEの3Dビューに転送します。	16分
		TBC-TOWISE連携3 オルソ画像と点群を連携	TOWISE連携を使って、TBCで作成した点群をオルソ画像化してTOIWISEに転送します。また、点群を3Dビューに転送します。	11分
		TBC-TOWISE連携4 CAD装飾展開	TOWISE連携を使って、TBCで作成したCAD図形をTOIWISEに転送しますが、その際に、CAD図形を装飾展開する方法をご紹介します。	24分